

2022/7/24-2

(うとQ世話し A interest to the event which happened on human being`s brain 10k years ago 1万年前の出来事への興味) 書庫版



「(人類の) 脳の進化は1万年前から止まっている」

何処で見たのか、見たこの記憶が正しいのかどうかさえ分からないのですが、見た当時

「何それ？そんなことある訳ないじゃないのよ」

と思った記憶が鮮明なので間違いなくどこかで目にした文言だと思います。

その当時

「1万年前に止まっているのだったら、活版印刷のゲーテンベルグはどうなるのよ？コペ
転のガリレオや蒸気機関のワットは？飛行機のライト兄弟や相対性原理のアインシュタイ
ンや近いところではコンピューターを発明した人やスマホのスティーブジョブズさんなん
かはどうなるのよ。そんなことある訳ないじゃないのよ。阿保クサ」

そう思ったからです。

しかしこの文言は何故か頭の片隅に残りました。

「仮にそうだとしたらどうなるのだ？」

「何を以てこの文言の主は進化と言っているのだ？」

「今天才と言われている人たちやこれ迄に時代を画する様な発明をしたと言われている、
或いは自分たちがそうだと信じて疑わなかった人たちは実は採るに足らない小物達に過ぎ
なかったという事？」

もし仮にそうだとしたらこの事実は自分にとっての目から鱗、天地逆転のコペ転以外の何
物でもなく「常識大転覆の大変事」に思え、一種の恐怖感さえ覚えました。

「それにしても何に着眼するとそう見えてくるのだろうか？」

「脳の何処？脳のどの働き？或いは脳が促す行為の何か？何だろう？」

最後の疑問はそれでした。

1万年前と言えば、今自分が興味を抱いている古代人よりもっと前のむしろ原始人に近い年代です。或いはその端境期かもしれません。いずれにせよかなり前まで遡る事になります。産業革命以前の生活体感実験をしておりますが、それどころの話ではありません。

「人類が上昇気流の乗る前に既に人類の脳の進化は終わっていた」

是はかなりショッキングな仮説です。

「だったら今の是（この時代のこの状況、状態）は、今のわれわれは一体何なのよ!？」

とため息が漏れてしまいそうです。

「ジョブズさんですら小物だとすると、自分等一介の凡人、市井人は一体全体何になってしまうのか？砂漠の砂の一片（ひとかけ）、芥子粒、蚤の目ん玉サイズ以下の存在でしかないじゃないのよ」

この恐怖心と納得のいかなさ（＝不領）の入り混じった心象に対して「で、それはどう見るとそう見えるのか？」という好奇心と整理のつかない落ち着かなさの入り混じった感情の方が勝った様でした。

この文言の主が誰で、その人の著作物が何なのかを何よりもまず探し出そうとはあまり思いませんでした。

其れよりも1万年前と言った根拠（視点視座）とその新しい視点が齎す「今後への変化」の方に俄然興味が湧いて参りました。

「この人の論に乗る前にまずは自分なりに整理してみよう。その方が断然面白そうだ」

そういう思いのせいかな直ぐには「言い出しっぺ探し」に飛びつかなかった様です。